

## 平成30年度 行事 総括

・行事回数：45回(53) ・参加者：87名(158)

・延参加者：535名(604) ・延参加日数：700日(794)

(括弧内は昨年度)

昨年に比べて行事回数(15.1%)、延参加者(11.4%)、延参加日数(11.8%)共に減少し、一行事あたりの参加者は、11.4人から11.9人と同等であった。行事数は、台風の度重なる襲来と天気周りが悪く中止や順延となり減少した事に因るものと思われる。

この一年を振り返ると、今年の台風で大日岳・大日如来坐像が石組み台座から転落し一部損傷したので、山頂で「大日如来坐像を一部修復し補強石組み台座への安置」を成し遂げた事が最も大きな行事業績であり、これを含めた特記事項10項目を列挙致します。

### 一、新春初山行「天川村・天和山(Ⅲ)△1284.8m、点名：川瀬峠」

実施日：1月3日。 当行事に初参加者3名(奈良市2名、座

間市1名)を含め総勢12名が集い、和田発電所への橋を渡り、送電線鉄塔のある尾根を登る。高度を上げるにつれ雪しぐれとなり川瀬峠を越え山頂へ。国旗を設置し万歳三唱の後、お神酒で乾杯。

山頂は低温(マイナス7℃)と吹雪でゆっくり出来ず。晴れていれば弥山・八経ヶ岳・明星ヶ岳の大パノラマが見渡せるはずだが、山頂部は全く見えなかった。帰路アイゼンを着用し下山した。

### 二、第59回戊戌歳十二支会例会「岐阜・犬の尾Ⅱ△617.6m、点名：

今須村」協賛行事 実施日：1月13日～14日。

前夜祭は「料理・水谷」・宿泊「奥養老」に54名が集い、当ぐるーぷから会員8名+ビジター4名が参加し、他会の方々と親睦

を深めました。

例会は、岐阜の犬の尾(ボンテン)の登頂で、39名が登る事になった。快晴に恵まれたが登山口の下明谷集落への路面には積雪がある。十二支会旗持ちは、当ぐるーぷの沖崎氏と岐阜の浅野氏で先導して登られた。積雪があり途中で山上さんが下山された。

杉植林帯の登山道から下土林道に登り辿ると、視界が開け、真っ白に冠雪した伊吹山、琵琶湖の北部が眺望された。

山頂の積雪は30～35cmで38名が登頂し、今西流の万歳三唱！と慶祝行事(当ぐるーぷ川島喜寿、沖崎古稀)が行われた。

下山後、沖崎氏は西国霊場巡りで別行動、その他の方は妙應寺(曹洞宗の門跡寺院)の宝物館拝観とぜんざいの接待があり、別行動の山上車と別れ帰新した。

### 三、前鬼の里への古道(旧前鬼道)の牛抱坂く牛抱峠く前鬼林道ゲ

ー卜間の踏査整備

実施日：3月18日。

昨年2回の踏査により略ルートが判明したが、旧前鬼道の主要部を歩き通せるようにチェーンソー・手鋸等で整備したが、今後とも歩いての整備が必要である。

### 四、大日岳・大日如来坐像のコンクリート補強石組み台座造りと安置

昨年の台風で石組み台座から転落し一部が損傷した大日如来坐像については、前鬼・小仲坊五鬼助さんの意向もあり、降ろさずに現状のまま安置するが、下部石組みのコンクリート補強と台座接合部のネジ止め等を山頂で行い安置する事になった。

実施日：5月20日 前鬼く砂袋と雨水貯槽等の荷揚げと石組

み調査。6月1日 太尾くパイプ荷揚げと雨水貯槽確認・修正。

6月17日 前鬼く砂袋荷揚げ。7月1日 太尾く砂袋賛同協力

依頼の看板と砂袋設置、セメント・砂袋を深仙宿へ荷揚げ。7月10 深仙宿からセメント荷揚げ。7月14～15日 太尾・前鬼くセメント・砂荷揚げと大日如来坐像を一旦下ろし石組み台座をコンクリート補強。7月22日 前鬼く補強石組み台座に安置し坐像と台座のネジ止め及び亀裂補修。以上行事回数7回、延120名で大日如来坐像を一部修復し補強石組み台座への安置を成し遂げた。尚、釈迦ヶ岳登山の際に、千丈平まで砂袋荷揚げに協力して下さった方々に御礼申し上げます。

この大日如来坐像は、強力・岡田雅行が大正13年に一人で釈迦如来立像(釈迦ヶ岳)・蔵王権現(椽ノ鼻)と一緒に担ぎ揚げられた仏像で大正15年(昭和元年(1926年))に設置完成したもので、今年で93年経過し、今回の石組み台座改修と坐像の一部修復によって、少なくとも半世紀以上維持されることを願っている。

## 五、東北地方(鳥海山、岩木山、八甲田山)への遠征登山

実施日：8月26日～29日。 昨年、鳥海山登頂に挑戦したが、強風により断念したので再挑戦する事になり、総勢27名が参加した。

26日：伊丹空港から小雨の山形空港へ。27日：夜半に前線が南下し天候が回復、念願の鳥海山新山山頂(2236m)に全員が登頂、往復13時間を要した。28日：快晴に恵まれ、8合目からロープウェイと歩行組に分かれて岩木山(I△1624.4m)と岩木神社奥宮に登拝した。下山時鳳鳴ヒュッテで青森空港を経て参加者1名が合流し27名になる。夕食は弘前市内で津軽三味線ライブと郷土料理を堪能。29日：山頂公園駅から毛無岱湿原を経て酸ヶ湯温泉組と八甲田大岳(I△1584.5m)、点名：八甲田山)を登頂し

湿原を経て酸ヶ湯温泉に下る組(17名)に分かれた。山頂付近のみガスに覆われて眺望がなかった。青森空港から伊丹空港に無事戻り解散した。

## 六、本山修験宗・聖護院の南奥駈修業を行仙宿等での支援接待

実施日：9月2日～3日。聖護院門跡から来年の「深仙灌頂会」の慶讃行事として、南奥駈修行(前鬼く本宮大社)の実施にあたり、行仙宿での宿泊・食事調達並びに玉置神社宿泊時の食事手配を依頼され、平素よりご支援ご厚誼を頂いている事から引受けた。

2日：食料と飲料水150Lを荷揚げして、夕食と3日朝食・昼食弁当を自前で調理。6名がリタイヤされ34名が19時40分に行仙宿に到着。3日：4時出立を見送り後、片付けして新宮に戻り、玉置神社宿泊時の夕食(業者)と4日の朝食・昼食弁当を手作りして、聖護院の玉置神社サポート隊に手渡した。

この行事に2日：21名、3日：7名の会友が参加ご協力して下さり成し得た。

尚、台風接近により、急遽修行を中断され4日早朝に玉置神社から下山された。修業支援に対して過分な御礼を賜りました。

## 七、台風20・21号後の笠捨山捲き道(旧通信道・鉄塔巡視路)の点検整備

実施日 9月17日、10月14日、11月3日。;

9月17日：南奥駈道(俱利伽羅岳く東屋岳)の点検巡視の際、笠捨山捲き道は、台風20号の豪雨により、桟木や路肩が崩落し倒木(一部切除)もあり、危険と判断して通行不可の標識を設置。

10月14日と11月3日の2回で倒木処理と桟木等の補修とロープ張りを行い略以前の状態になり、通行不可の標識を外した。

## 八、行仙宿・東側軒下犬走りコンクリート再舗装

実施日；9月16日。小屋建築後に舗装した犬走りは、地盤沈下により建屋基礎との隙間やコンクリート面に亀裂が走り雨水の浸み込みで崩落も懸念され、軒下が長くこれまで2回実施して来たが、今回残り約3mにコンクリート手練り5回(以前から荷揚げ済のセメント75kg・砂350kg・パラス270kg使用)を行い、東側軒下の犬走りの再舗装を完了した。

## 九、行仙宿補給路の栈木取替用の寄贈栈木丸太の防腐剤塗布と運搬

実施日；6月24日、10月21日、11月4日。

行仙宿補給路の栈木が腐朽して来ており、以前防腐剤含浸丸太を提供して頂いた下北山村に打診したところ、防腐剤未処理の栈木丸太(長さ2m、径約12cm)100本を寄贈して下さいる事になる。

6月24日；登山口に運搬された20本に防腐剤を塗布。

10月21日；下北山村・林産加工施設から残り栈木丸太80本(余剰6本も貰う)を、児嶋さんの1屯トラックで登山口に運搬して、防腐剤を塗布した。

11月4日；防腐剤処理した栈木丸太約70本は、モノレールを使い、モノレールから下の補給路の取替要の箇所担いで運んだ。来春に取替への補修作業をする事になる。

## 十、山彦ぐるーぷ行事二千回達成の祝賀会開催

実施日；12月1日。平成最後の忘年会と兼ねて行事二千回達成の祝賀会が、阿須賀神社境内・阿須賀会館で総勢40名が出席して開催された。

行事二千回は、本年11月(会設立後45年7ヶ月)に達成し、延2万4800人が行事に参加ご協力して下さいました。

平均すると月約4回の行事が実施され、1回に延12人の参加になります。これまでの行事に参加ご協力頂いた故人並びに皆様様に改めて衷心より御礼申し上げます。

最後に、30年度の行事遂行に会友並びに賛同者からご支援ご協力を頂き感謝とお礼を申し上げます。

尚、本年度で川島世話人代表は退任し、改元年と併せて新たな視点でぐるーぷの運営をして頂くために、沖崎吉信世話人代表に引継ぐことにしました。

平成25年からの在任中にご支援ご協力ご厚誼を賜わり衷心より御礼を申し上げますと共に沖崎新世話人代表にも、引続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

平成31年度には、台風20号・21号・24号による南奥駈道の倒木処理などの点検巡視に例年以上に労力が必要になります。又、行仙宿補給路の栈木取替・補修、釈迦ヶ岳・釈迦如来立像の台座石積みの一部補修、平治宿の水場改修などの課題が山積しています。

皆様方には、山積の課題を新体制の沖崎世話人代表を盛り立て、行事にご支援ご協力をお願いする次第です。

(文責 川島)